

令和 8 年 2 月 8 日執行衆議院議員選挙 調査結果の概要

1 年代別の投票行動

(1) 年代別の比較

21 歳～24 歳 (39.97%) が最も低く、年齢層が上がるとともに、投票率が上昇している。65 歳～69 歳 (71.39%) で最も高くなり、70 歳以上の各層では低下している。

(2) 前回衆議院議員選挙との比較

前回衆院選 (令和 6 年 10 月 27 日執行) と年代別の投票率を比較すると、75 歳未満の各層で、前回の投票率を上回っている。

なお、全体の投票率は 59.16% で、前回衆院選の 56.06% に比べて 3.10 ポイント高くなっている。

2 男女別・年代別の投票行動

19 歳から 24 歳、45 歳から 49 歳、及び 60 歳以上の各層で、男性の投票率が女性の投票率より高くなっている。特に、80 歳以上では、男性 57.04%、女性 43.61% で、その差が 13.43 ポイントとなっている。

一方で、24 歳以下と 75 歳以上では、各層で男性の投票率が女性の投票率より高くなっている。特に、80 歳代以上では、男性 59.02%、女性 46.71% で、その差が 12.31 ポイントと最も大きくなっている。

全体の男女別投票率は、男性 59.79%、女性 58.56% で、男性の投票率が女性の投票率を 1.23 ポイント上回った。

3 地域別・年代別の投票行動

区部では、60 歳代の投票率が最も高くなっている。市部、郡部、島部では、70 歳代の投票率が最も高くなっている。

区部、市部、郡部では 20 歳代の投票率が最も低くなっている。島部では

10 歳代の投票率が最も低くなっている。

また、地域別の投票率をみると、区部 59.32%、市部 58.85%で、区部の投票率が市部の投票率を 0.47 ポイント上回っている。

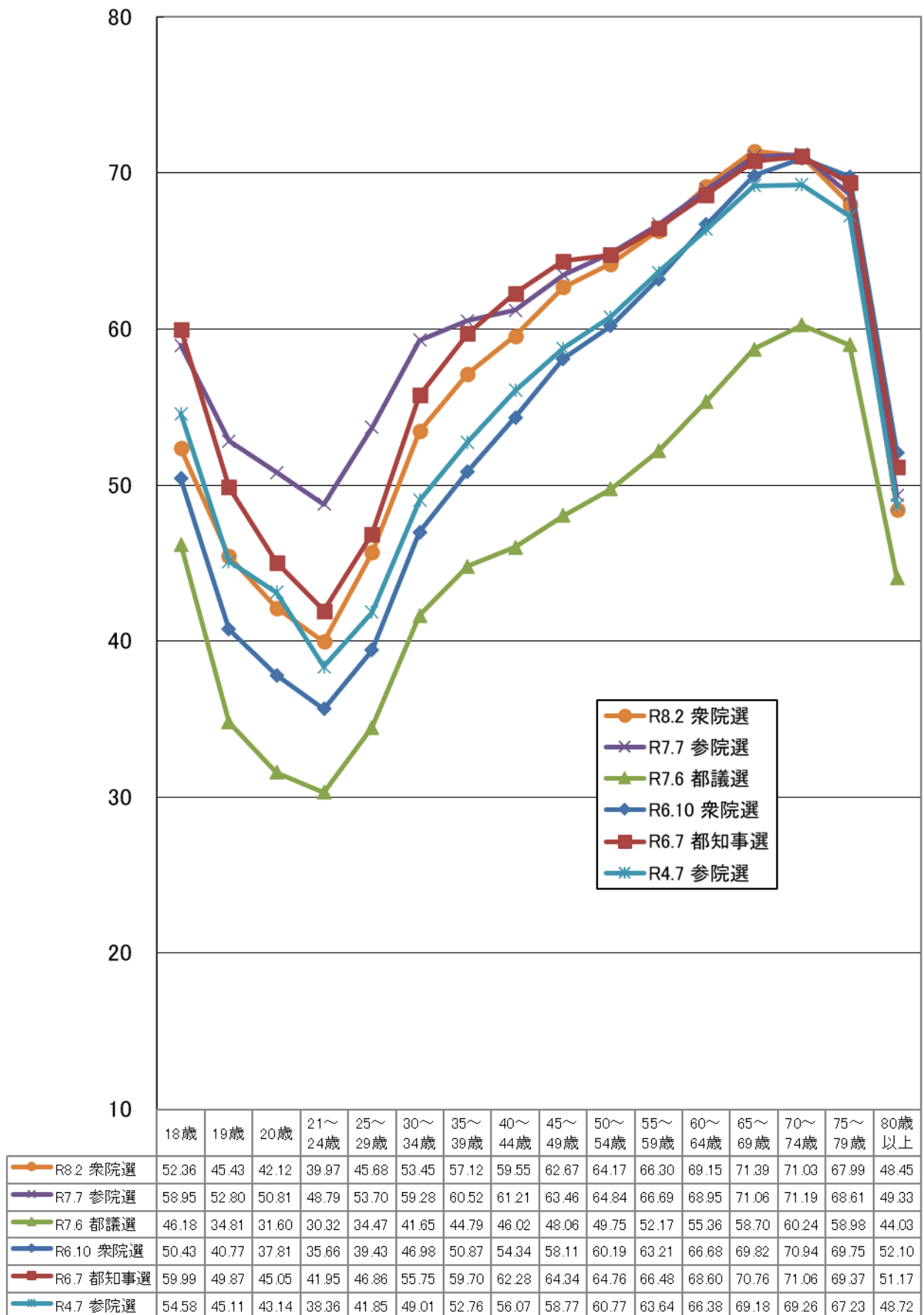
4 区部地域別・年代別の投票行動

特別区を都心、城南、城西、城北、城東の 5 つの地域に分け、年代別投票率を記載している。

なお、26 市 5 町 8 村については、面積が広く、また区部と比較すると人口が集積していないことから、地域を区分けして集計・分析は行っていない。

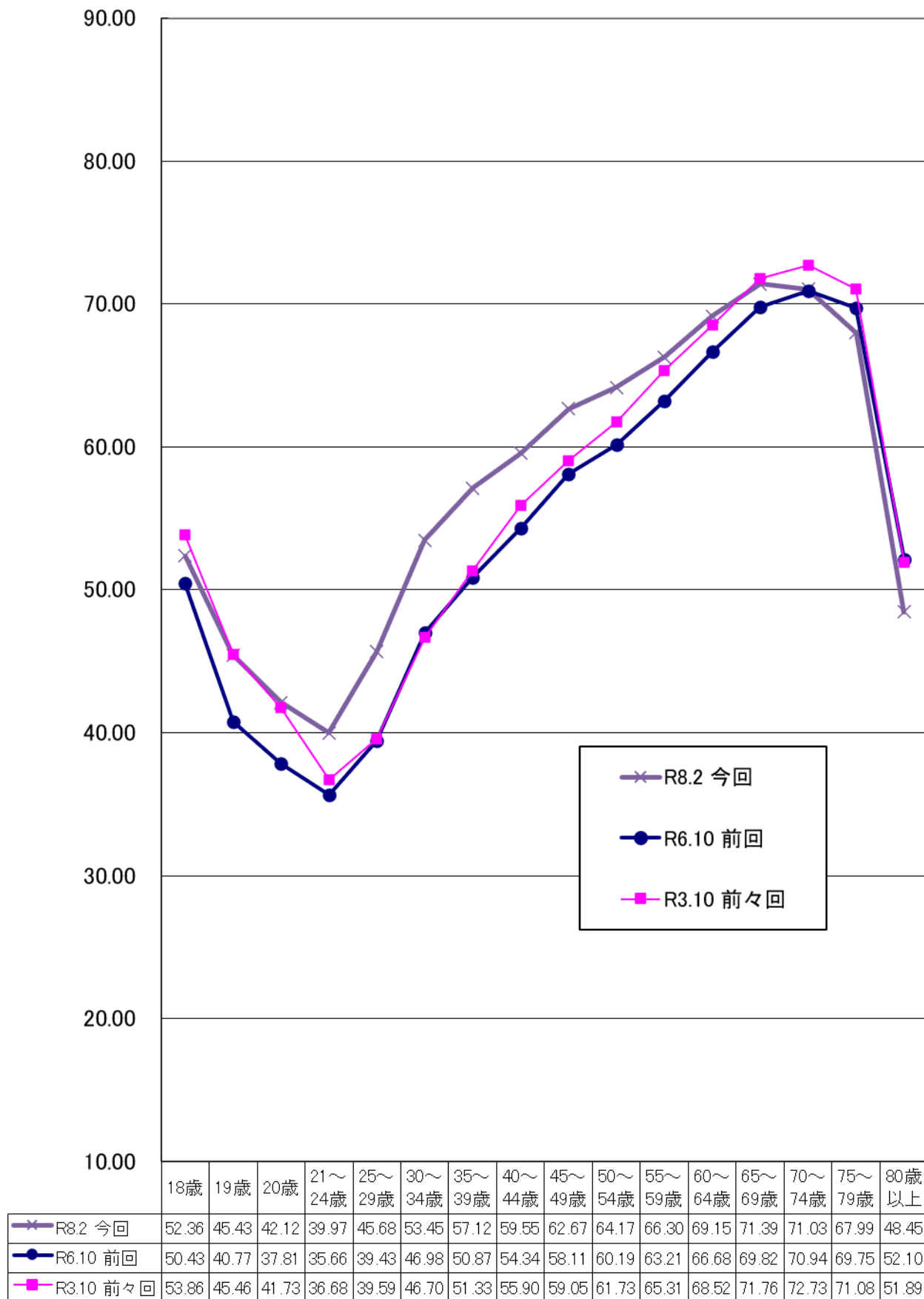
年代別・選挙別推定投票率一覧

(単位: %)



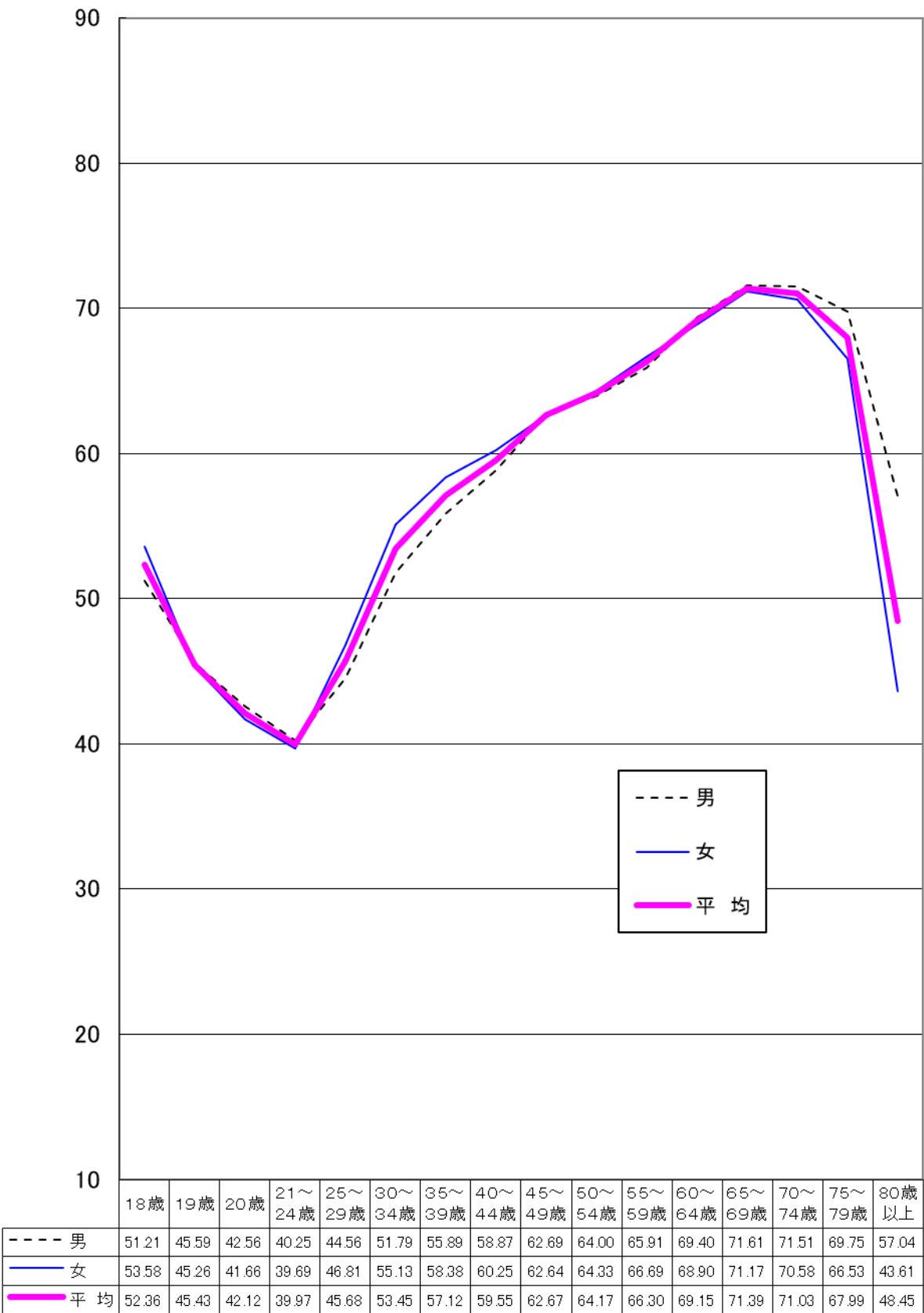
(単位: %)

年代別推定投票率一覧(衆議院議員選挙)



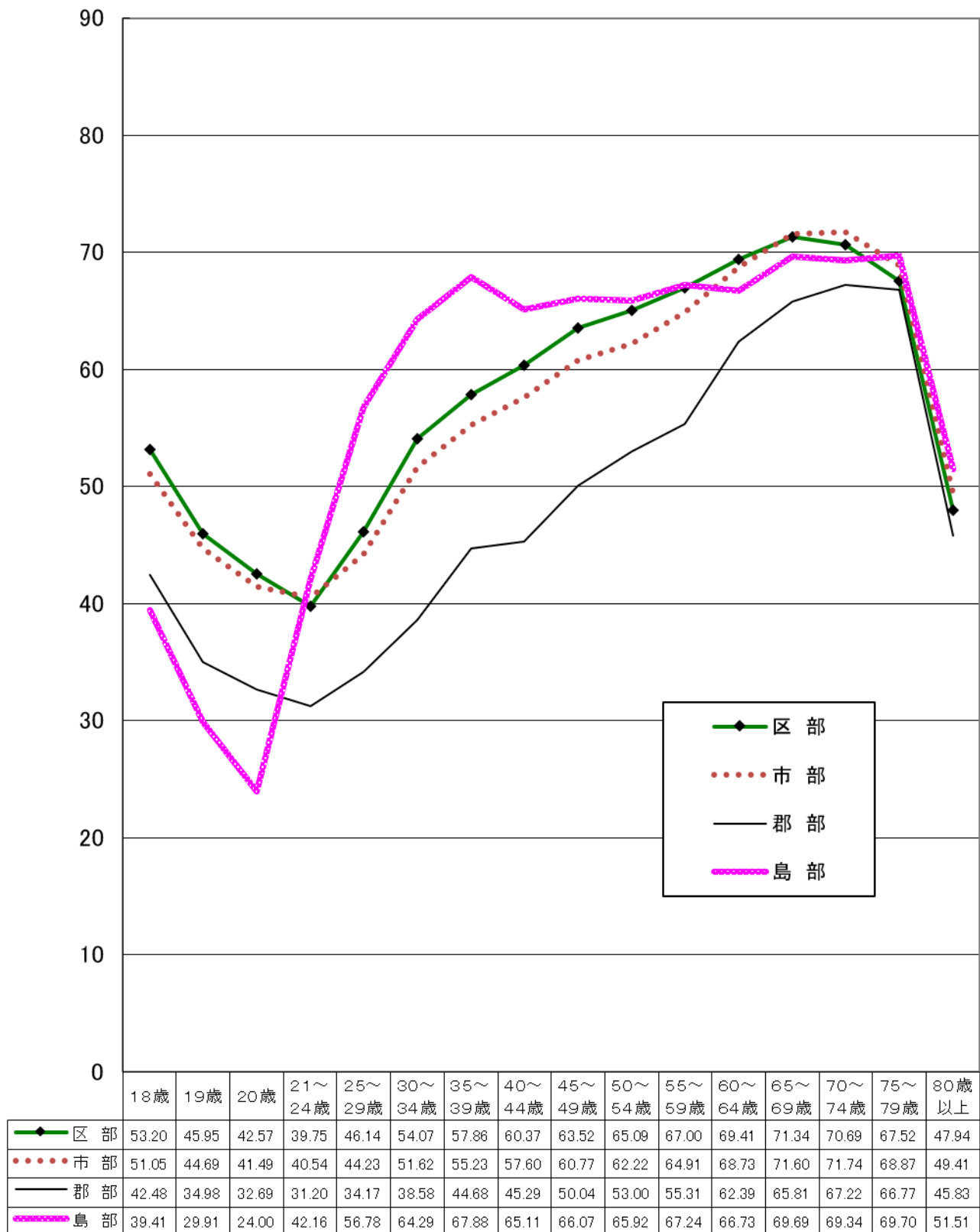
男女別・年代別推定投票率一覽

(単位: %)



地域別・年代別推定投票率一覧

(単位: %)



区部地域別・年代別推定投票率一覧

(単位: %)

